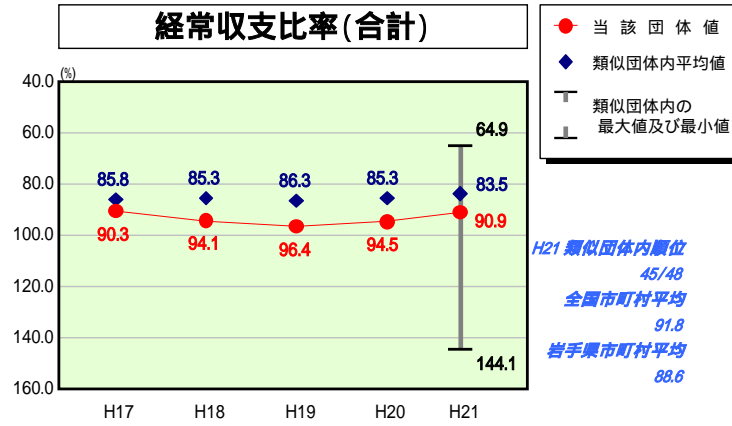


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

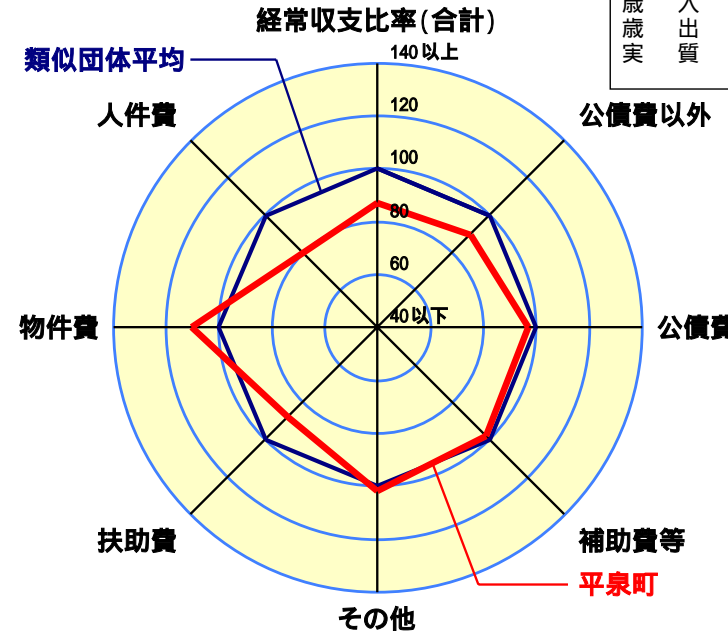
経常収支比率の分析



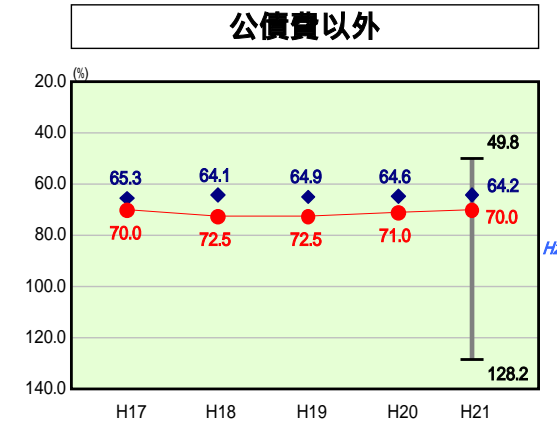
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
— 類似団体内の最大値及び最小値

H21 類似団体内順位 45/48
全国市町村平均 91.8
岩手県市町村平均 88.6

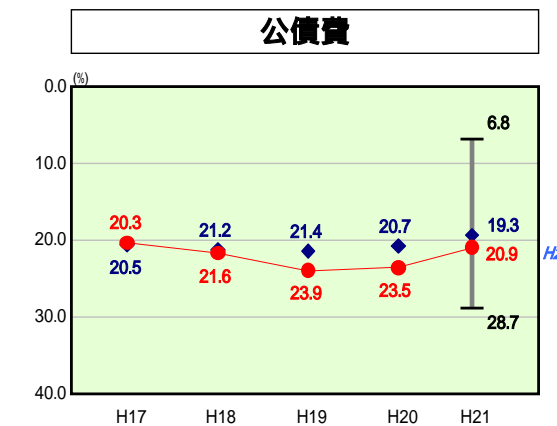
人面標準	8,577人(H22.3.31現在)
歳入総額	63.39 km ²
歳出総額	2,679,978千円
実質収支	4,119,935千円
	77,228千円



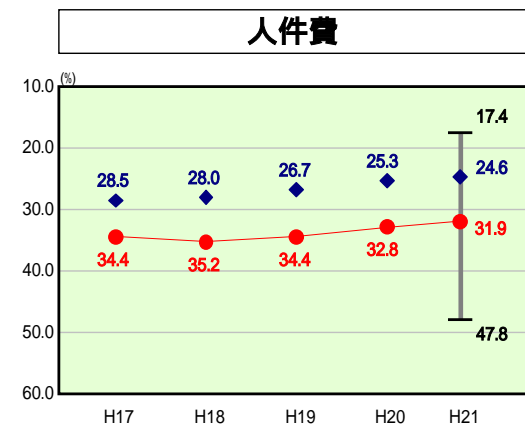
- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



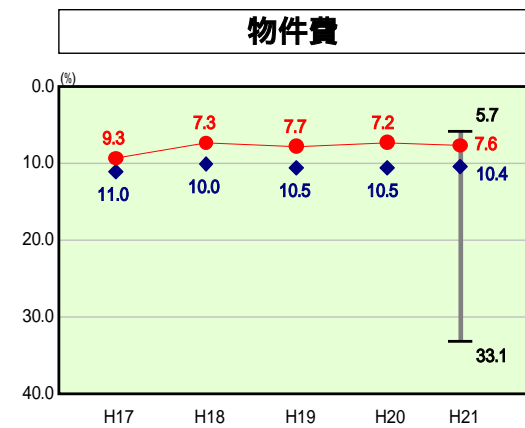
H21 類似団体内順位 39/48
全国市町村平均 71.9
岩手県市町村平均 66.2



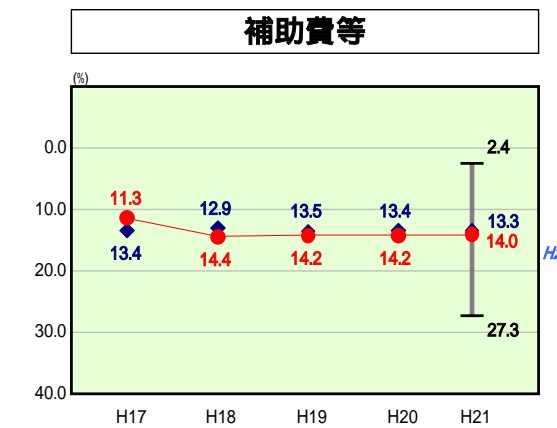
H21 類似団体内順位 26/48
全国市町村平均 19.9
岩手県市町村平均 22.4



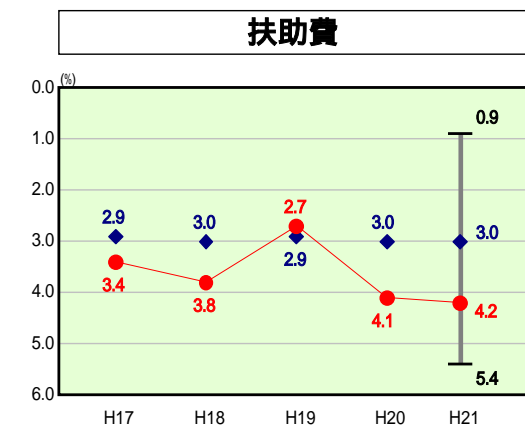
H21 類似団体内順位 46/48
全国市町村平均 26.7
岩手県市町村平均 24.9



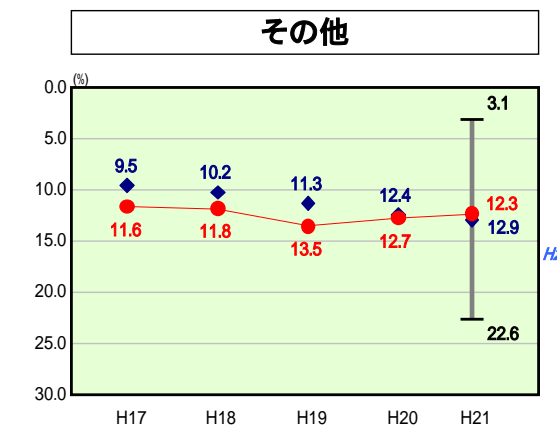
H21 類似団体内順位 8/48
全国市町村平均 13.0
岩手県市町村平均 11.6



H21 類似団体内順位 30/48
全国市町村平均 10.5
岩手県市町村平均 11.8



H21 類似団体内順位 42/48
全国市町村平均 9.6
岩手県市町村平均 7.0



H21 類似団体内順位 22/48
全国市町村平均 12.1
岩手県市町村平均 10.9

分析欄

・人件費: 給与構造改革の導入が1年遅れたため類似団体平均を7.3ポイント上回っている。今後は集中改革プランあるいは定員適正化計画に基づき退職者の不補充(平成22年度まで)や人事院勧告を基本とした職員給与の適正化に努める。

・物件費: 物件費に係る経常収支比率が類似団体平均より2.8%下回っている。これは過去2年間、物件費や維持管理費等を枠配分方式(前年度対比 5.0%)により抑制に努めてきており、これを基に予算編成を実施しているためである。今後も引き続き経費削減に一層努める。

・扶助費: 扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均を1.2%上回っている要因として、保育所需要の高まりによる保育所関係経費の増加や障害者自立支援法改正による給費増等が挙げられる。引き続き上昇傾向にあるため町独自の制度については見直しを図る方針である。

・公債費: 平成11年度から平成14年度にかけて実施した公営住宅建設事業(総事業費17.1億円うち起債10億円)や、平成13年度から平成17年度にかけて実施した小学校改築事業(総事業費15.7億円うち起債9.2億円)等により類似団体平均を1.6%上回っている。今後は公債費負担適正化計画に基づき普通建設事業の厳選及びコスト縮減による新規地方債発行の抑制(普通会計単年度発行額2.24億円以内、ただし臨時財政対策債を除く)に努める。

・補助費等: 補助費等に係る経常経費が類似団体平均を0.7%上回っているのは介護保険事業やごみの収集運搬委託料等一部事務組合負担金の増加が挙げられる。なお、各種団体への補助金については集中改革プランに基づき(5%)で見直しを図ってきている。

・その他: その他の経常経費が類似団体平均を0.6%下回っているのは、下水道事業など繰出金が減少したことによる。これまで集中改革プランに基づき使用料の見直し(10.0%程度)による健全化を図ってきたが、今後とも一般会計から他会計への繰出金を減らしていくよう努める。

・普通建設事業費: 普通建設事業費の人口1人当り決算額が類似団体平均を20.0%下回っているのは、平泉郷土館改修事業が終了したことによるものであり、今後は平泉中学校改築事業が見込まれるが、公債費負担適正化計画に基づき普通建設事業の取捨選択をし実質公債費比率H24年度18%未満達成に向け抑制に努めていく。